

## (2) 輸送機械

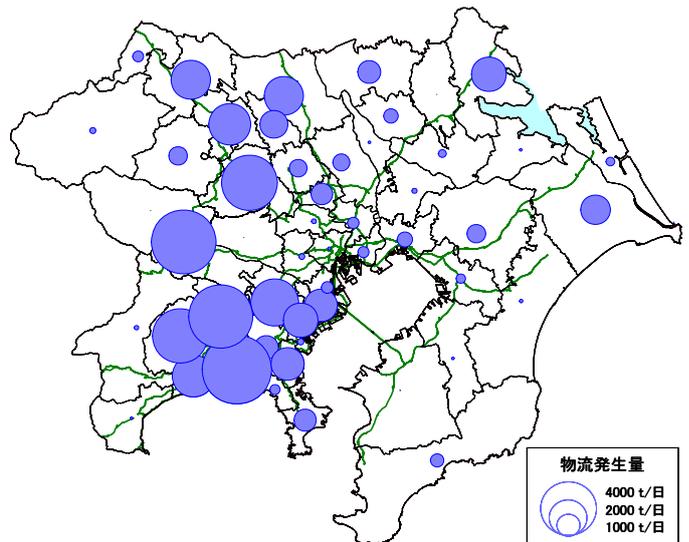
自動車やその関連部品など輸送機械は、海外での生産が進みつつある一方で、国内での生産や輸出も多く関連産業のすそ野も広いいため、その効率化は競争力強化を図るうえで重要である。そこで、特に、工場間など製造過程の輸送とともに、製品が輸出に向けて港湾に輸送されるまでの流れについて示す。

### ◆ 輸送機械の流れの概要

輸送機械の生産は、太田など北関東の工場集積地のほか、埼玉から日野など多摩地域を経て神奈川にかけて多く、これらの地域は物流の発生量でも大きくなっている。

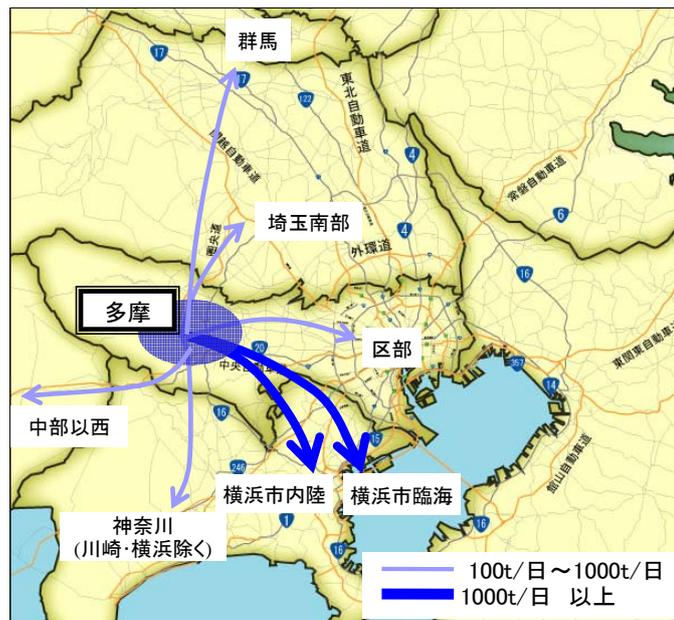
輸送機械の製造過程では、関連産業間で部品や材料等を大量に輸送するため、埼玉、多摩地域、神奈川の集積地間で、国道16号や129号、府中街道等の特定のルートを経由し、多摩南北方向に輸送されることが多い。

また、製品の輸出時には、これらの地域から、国道16号、20号、409号などのほか、新青梅街道、府中街道、環状7号線などを経由して、東京港、横浜港へ輸送されている。



工場からの施設間流動ベースの発生量を図化  
資料 東京都市圏交通計画協議会「第4回東京都市圏物資流動調査」(平成15年度)データより東京都で集計・加工

図 輸送機械の地域別物流発生量



輸送機械の純流動 OD。施設種類は全施設計  
資料 東京都市圏交通計画協議会「第4回東京都市圏物資流動調査」(平成15年度)より作成

図 多摩地域からの輸送機械の輸送先

## ◆ 輸送機械の流れにおける主な問題点

多摩地域での道路整備の遅れや既存路線で走行上問題となっている箇所が多く挙げられた。

### ・多摩地域の道路整備の遅れ

多摩地域を中心に、埼玉や神奈川との間で輸送することが多いが、圏央道が一部区間のみの開通であることに加え、多摩南北方向の街路整備の遅れから、国道16号や府中街道など一部路線に貨物車が集中し、非効率な輸送になっている。

### ・主要走行経路上のボトルネック

主要な走行経路の一つである国道16号では、昭島市の松原地区で車線数が少ないほか、昭島市小荷田交差点で右左折がしづらいなど、ボトルネックとなる箇所があり、渋滞が発生している。このほか、府中街道では総重量20t超では自由走行ができないため、効率的な大量・一括輸送が行えない状況になっている。



図 輸送機械の流れにおける問題点